

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	札幌医学技術福祉歯科専門学校
設置者名	学校法人西野学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
専門課程	臨床検査技師科	夜・通信	12 (400)	10 (240)	
	介護福祉士科	夜・通信	10 (180)	7 (160)	
	理学療法士科	夜・通信	12 (240)	10 (240)	
	臨床工学技士科	夜・通信	12 (255)	10 (240)	
	言語聴覚士科	夜・通信	12 (300)	10 (240)	
	歯科衛生士科	夜・通信	12 (330)	10 (240)	
	作業療法士科	夜・通信	16 (240)	10 (240)	
(備考) 介護福祉士科：令和7年度生・令和8年度生 募集停止（収容定員0人） ()内の数字は「学校教育法施行規則等の附則第2条（経過措置）」に基づき、「実務経験のある教員等による授業科目の単位数」について用いる授業時数を記載。					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://nishino-g.ac.jp/about/johokokai/

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	札幌医学技術福祉歯科専門学校
設置者名	学校法人西野学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

https://nishino-g.ac.jp/about/johokokai/

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	学生会館経営	2024.06.01～ 2028.05.31	学生生活サポート
非常勤	病院院長（医師）	2024.06.01～ 2028.05.31	教育指導
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	札幌医学技術福祉歯科専門学校
設置者名	学校法人西野学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>関係法令を遵守し編成しなければならないことは勿論、学生の実態・就職施設(病院等)の要望を把握し、教育課程編成委員会において慎重に議論を行っている。特に就職施設企業(病院等)の要望については、本学園の学生サポートセンター就職支援担当が実施している数カ月にわたる病院等へのヒアリングの結果を報告会等で情報提供して意見交換を行い、その結果を学科会議や教育課程編成委員会等で教育課程編成に反映させている。</p> <p>シラバスの記載項目や様式等は、本学園の教学マネジメント室において検討を行い「西野学園授業計画(シラバス)作成ガイドライン」が作成され、この内容は本学園のグループウェアや学内研修により全教員に周知されている。</p> <p>シラバスは毎年2月末までに作成され、毎年4月初めに学内eラーニングシステム「Glexa」、学園ホームページにより学生へ公表している。</p> <p>なお、各科において概ね同様の概要となっている。</p>	
授業計画書の公表方法	https://nishino-g.ac.jp/about/johokokai/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価は、定期試験(論文含む)、または演習、実習などの成績ならびに平素の学習活動全般から得られる評価資料(レポート等)に基づいて総合的に行っている。</p> <p>科目の成績の総合評価は100点法をもって行っており、総合評価に基づいて、秀・優・良・可・不可の5段階に評定し、可以上を合格としている(秀:100点~90点、優:89点~80点、良:79点~70点、可:69点~60点、不可:59点以下)。</p> <p>成績評価の方法は、シラバスに明記され、印刷物及び学内eラーニングシステム「Glexa」、学園ホームページにより学生へ公表している。</p> <p>なお、各科において概ね同様の概要となっている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>年間の成績評価の指標として、「総合評価の平均（総平均）」を算出している。総平均は、シラバスの「成績評価方法」に記載された方法で総合評価された各科目の成績（100点満点）について、当該学年全科目分を平均することとしている。</p> <p>学生個々の成績状況については、当該学生の総平均及び学科ごとの総平均の順位を算出し、出席・成績一覧表及び個別面談により本人及び保証人（父母等）へ通知している。評価の算出については「学習等に関わる規則」として学生便覧へ掲載し、学内eラーニングシステム「Glexa」及び学園ホームページにより学生へ公表している。</p> <p>なお、各科において概ね同様の概要となっている。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://nishino-g.ac.jp/about/johokokai/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>本学園及び本校の教育理念・教育目標・教育方針に基づき、各学科において、学則に定められた所定の修業年限以上在学し、履修すべき科目のすべてを修得し、学校納入金を完納した者に対して、卒業認定会議を経て、卒業を認定している。</p> <p>また、教育課程編成委員会並びに学科会議において、卒業認定の方針（ディプロマポリシー）を定め、公表している。</p> <p>なお、各科において概ね同様の概要となっている。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>https://nishino-g.ac.jp/about/johokokai/</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	札幌医学技術福祉歯科専門学校
設置者名	学校法人西野学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://nishino-g.ac.jp/about/johokokai/
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門	臨床検査技師科	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	133	100	3	30	-	-
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員 数	総教員数	
200人		140人	0人	9人	37人	46人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

<p>（概要）</p> <p>関係法令を遵守し編成しなければならないことは勿論、学生の実態・就職施設（病院等）の要望を把握し、教育課程編成委員会において慎重に議論を行っている。特に就職施設企業（病院等）の要望については、本学園の学生サポートセンター就職支援担当が実施している数カ月にわたる病院等へのヒアリングの結果を報告会等で情報提供して意見交換を行い、その結果を学科会議や教育課程編成委員会等で教育課程編成に反映させている。</p> <p>シラバスの記載項目や様式等は、本学園の教学マネジメント室において検討を行い「西野学園授業計画（シラバス）作成ガイドライン」が作成され、この内容は本学園のグループウェアや学内研修により全教員に周知されている。</p> <p>シラバスは毎年2月末までに作成され、毎年4月初めに学内eラーニングシステム「Glexa」、学園ホームページにより学生へ公表している。</p>
--

成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>成績評価は、定期試験（論文含む）、または演習、実習などの成績ならびに平素の学習活動全般から得られる評価資料（レポート等）に基づいて総合的に行っている。</p> <p>科目の成績の総合評価は100点法をもって行っており、総合評価に基づいて、秀・優・良・可・不可の5段階に評定し、可以上を合格としている（秀:100点～90点、優:89点～80点、良:79点～70点、可:69点～60点、不可:59点以下）。</p> <p>成績評価の方法は、シラバスに明記され、印刷物及び学内eラーニングシステム「Glexa」、学園ホームページにより学生に公表している。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>本学園及び本校の教育理念・教育目標・教育方針に基づき、各学科において、学則に定められた所定の修業年限以上在学し、履修すべき科目のすべてを修得し、学校納入金を完納した者に対して、卒業認定会議を経て、卒業を認定している。</p> <p>また、教育課程編成委員会並びに学科会議において、卒業認定の方針（ディプロマポリシー）を定め、公表している。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>「医療・福祉の現場で求められる人材の育成」を達成するために、学校生活での様々な悩みや問題に対して相談に応じ、円滑に過ごせるようにサポートをしている。入学前教育から、国家試験対策やスキルアップの支援まで、目標の実現を支えていく。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
50人 (100%)	1人 (2.0%)	40人 (80.0%)	9人 (18.0%)
(主な就職、業界等) 病院・臨床検査センター等			
(就職指導内容) 入学当初より職業人への意識向上を図っている。在学中は、学生サポートセンターの就職担当者から職業ガイダンス（卒業年次はオリエンテーション、履歴書作成、出願・面接等の指導）が行われ、担任との面談等を経て、希望就職先を決定している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 臨床検査技師国家試験 合格者 46名			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
141人	1人	0.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学業不振		

(中退防止・中退者支援のための取組)
 学校での学習がスムーズに行えるよう、入学前の基礎学力向上の取り組みから入学後の専門課程の学習、国家試験合格までを継続的にサポートしている。
 また、担当教員が学生生活を送る上でのトラブルや悩みを聞き、より良い解決方法を共に考えていくほか、経済的な面など生活全般についての相談や学生の心身の健康管理に関する相談を行っている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門	介護福祉士科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	104	70	21	12	—	1
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
0人		0人	0人	0人	0人	0人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>関係法令を遵守し編成しなければならないことは勿論、学生の実態・就職施設(福祉施設等)の要望を把握し、教育課程編成委員会において慎重に議論を行っている。特に就職施設企業(福祉施設等)の要望については、本学園の学生サポートセンター就職支援担当が実施している数カ月にわたる福祉施設等へのヒアリングの結果を報告会等で情報提供して意見交換を行い、その結果を学科会議や教育課程編成委員会等で教育課程編成に反映させている。</p> <p>シラバスの記載項目や様式等は、本学園の教学マネジメント室において検討を行い「西野学園授業計画(シラバス)作成ガイドライン」が作成され、この内容は本学園のグループウェアや学内研修により全教員に周知されている。</p> <p>シラバスは毎年2月末までに作成され、毎年4月初めに学内eラーニングシステム「Glexa」、学園ホームページにより学生へ公表している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>成績評価は、定期試験(論文含む)、または演習、実習などの成績ならびに平素の学習活動全般から得られる評価資料(レポート等)に基づいて総合的に行っている。</p> <p>科目の成績の総合評価は100点法をもって行っており、総合評価に基づいて、秀・優・良・可・不可の5段階に評定し、可以上を合格としている(秀:100点~90点、優:89点~80点、良:79点~70点、可:69点~60点、不可:59点以下)。</p> <p>成績評価の方法は、シラバスに明記され、印刷物及び学内eラーニングシステム「Glexa」、学園ホームページにより学生へ公表している。</p>
卒業・進級の認定基準

<p>(概要)</p> <p>本学園及び本校の教育理念・教育目標・教育方針に基づき、各学科において、学則に定められた所定の修業年限以上在学し、履修すべき科目のすべてを修得し、学校納入金を完納した者に対して、卒業認定会議を経て、卒業を認定している。</p> <p>また、教育課程編成委員会並びに学科会議において、卒業認定の方針（ディプロマポリシー）を定め、公表している。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>「医療・福祉の現場で求められる人材の育成」を達成するために、学校生活での様々な悩みや問題に対して相談に応じ、円滑に過ごせるようにサポートをしている。入学前教育から、国家試験対策やスキルアップの支援まで、目標の実現を支えていく。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18人 (100%)	0人 (0%)	18人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）、介護老人保健施設、障害者支援施設 他			
(就職指導内容) 入学当初より職業人への意識向上を図っている。在学中は、学生サポートセンターの就職担当者から職業ガイダンス（卒業年次はオリエンテーション、履歴書作成、出願・面接等の指導）が行われ、担任との面談等を経て、希望就職先を決定している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 介護福祉士国家試験 13名合格			
(備考)（任意記載事項） 令和7年度生・令和8年度生 募集停止（令和9年度生から募集再開）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19人	1人	5.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学校での学習がスムーズに行えるよう、入学前の基礎学力向上の取り組みから入学後の専門課程の学習、国家試験合格までを継続的にサポートしている。 また、担当教員が学生生活を送る上でのトラブルや悩みを聞き、より良い解決方法を共に考えていくほか、経済的な面など生活全般についての相談や学生の心身の健康管理に関する相談を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門	理学療法士科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	130	70	39	21	—	—
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		78人	1人	6人	55人	61人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>関係法令を遵守し編成しなければならないことは勿論、学生の実態・就職施設（病院等）の要望を把握し、教育課程編成委員会において慎重に議論を行っている。特に就職施設企業（病院等）の要望については、本学園の学生サポートセンター就職支援担当が実施している数カ月にわたる病院等へのヒアリングの結果を報告会等で情報提供して意見交換を行い、その結果を学科会議や教育課程編成委員会等で教育課程編成に反映させている。</p> <p>シラバスの記載項目や様式等は、本学園の教学マネジメント室において検討を行い「西野学園授業計画（シラバス）作成ガイドライン」が作成され、この内容は本学園のグループウェアや学内研修により全教員に周知されている。</p> <p>シラバスは毎年2月末までに作成され、毎年4月初めに学内eラーニングシステム「Glexa」、学園ホームページにより学生へ公表している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価は、定期試験（論文含む）、または演習、実習などの成績ならびに平素の学習活動全般から得られる評価資料（レポート等）に基づいて総合的に行っている。</p> <p>科目の成績の総合評価は100点法をもって行っており、総合評価に基づいて、秀・優・良・可・不可の5段階に評定し、可以上を合格としている（秀:100点～90点、優:89点～80点、良:79点～70点、可:69点～60点、不可:59点以下）。</p> <p>成績評価の方法は、シラバスに明記され、印刷物及び学内eラーニングシステム「Glexa」、学園ホームページにより学生へ公表している。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>本学園及び本校の教育理念・教育目標・教育方針に基づき、各学科において、学則に定められた所定の修業年限以上在学し、履修すべき科目のすべてを修得し、学校納入金を完納した者に対して、卒業認定会議を経て、卒業を認定している。</p> <p>また、教育課程編成委員会並びに学科会議において、卒業認定の方針（ディプロマポリシー）を定め、公表している。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>「医療・福祉の現場で求められる人材の育成」を達成するために、学校生活での様々な悩みや問題に対して相談に応じ、円滑に過ごせるようにサポートをしている。入学前教育から、国家試験対策やスキルアップの支援まで、目標の実現を支えていく。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
23人 (100%)	0人 (0%)	21人 (91.3%)	2人 (8.7%)
(主な就職、業界等) 病院、診療所			
(就職指導内容) 入学当初より職業人への意識向上を図っている。在学中は、学生サポートセンターの就職担当者から職業ガイダンス（卒業年次はオリエンテーション、履歴書作成、出願・面接等の指導）が行われ、担任との面談等を経て、希望就職先を決定している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 理学療法士国家試験 23名合格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
84人	7人	8.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学校での学習がスムーズに行えるよう、入学前の基礎学力向上の取り組みから入学後の専門課程の学習、国家試験合格までを継続的にサポートしている。 また、担当教員が学生生活を送る上でのトラブルや悩みを聞き、より良い解決方法を共に考えていくほか、経済的な面など生活全般についての相談や学生の心身の健康管理に関する相談を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門	臨床工学技士科	○	-		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	133	79	32	22	-	-
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員 数	総教員数	
120人		30人	1人	6人	40人	46人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>関係法令を遵守し編成しなければならないことは勿論、学生の実態・就職施設（病院等）の要望を把握し、教育課程編成委員会において慎重に議論を行っている。特に就職施設企業（病院等）の要望については、本学園の学生サポートセンター就職支援担当が実施している数カ月にわたる病院等へのヒアリングの結果を報告会等で情報提供して意見交換を行い、その結果を学科会議や教育課程編成委員会等で教育課程編成に反映させている。</p> <p>シラバスの記載項目や様式等は、本学園の教学マネジメント室において検討を行い「西野学園授業計画（シラバス）作成ガイドライン」が作成され、この内容は本学園のグループウェアや学内研修により全教員に周知されている。</p> <p>シラバスは毎年2月末までに作成され、毎年4月初めに学内eラーニングシステム「Glexa」、学園ホームページにより学生へ公表している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価は、定期試験（論文含む）、または演習、実習などの成績ならびに平素の学習活動全般から得られる評価資料（レポート等）に基づいて総合的に行っている。</p> <p>科目の成績の総合評価は100点法をもって行っており、総合評価に基づいて、秀・優・良・可・不可の5段階に評定し、可以上を合格としている（秀:100点～90点、優:89点～80点、良:79点～70点、可:69点～60点、不可:59点以下）。</p> <p>成績評価の方法は、シラバスに明記され、印刷物及び学内eラーニングシステム「Glexa」、学園ホームページにより学生に公表している。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>本学園及び本校の教育理念・教育目標・教育方針に基づき、各学科において、学則に定められた所定の修業年限以上在学し、履修すべき科目のすべてを修得し、学校納入金を完納した者に対して、卒業認定会議を経て、卒業を認定している。</p> <p>また、教育課程編成委員会並びに学科会議において、卒業認定の方針（ディプロマポリシー）を定め、公表している。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>「医療・福祉の現場で求められる人材の育成」を達成するために、学校生活での様々な悩みや問題に対して相談に応じ、円滑に過ごせるようにサポートをしている。入学前教育から、国家試験対策やスキルアップの支援まで、目標の実現を支えていく。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
6人 (100%)	0人 (2.0%)	3人 (50.0%)	3人 (50.0%)
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>病院、クリニック等</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>入学当初より職業人への意識向上を図っている。在学中は、学生サポートセンターの就職担当者から職業ガイダンス（卒業年次はオリエンテーション、履歴書作成、出願・面接等の指導）が行われ、担任との面談等を経て、希望就職先を決定している。</p>			

(主な学修成果(資格・検定等)) 臨床工学技士国家試験 合格者3名
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
29人	0人	0.0%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学校での学習がスムーズに行えるよう、入学前の基礎学力向上の取り組みから入学後の専門課程の学習、国家試験合格までを継続的にサポートしている。 また、担当教員が学生生活を送る上でのトラブルや悩みを聞き、より良い解決方法を共に考えていくほか、経済的な面など生活全般についての相談や学生の心身の健康管理に関する相談を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門	言語聴覚士科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	151	121	15	15	—	—
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		55人	0人	6人	31人	37人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 関係法令を遵守し編成しなければならないことは勿論、学生の実態・就職施設(福祉施設等)の要望を把握し、教育課程編成委員会において慎重に議論を行っている。特に就職施設企業(福祉施設等)の要望については、本学園の学生サポートセンター就職支援担当が実施している数カ月にわたる福祉施設等へのヒアリングの結果を報告会等で情報提供して意見交換を行い、その結果を学科会議や教育課程編成委員会等で教育課程編成に反映させている。 シラバスの記載項目や様式等は、本学園の教学マネジメント室において検討を行い「西野学園授業計画(シラバス)作成ガイドライン」が作成され、この内容は本学園のグループウェアや学内研修により全教員に周知されている。 シラバスは毎年2月末までに作成され、毎年4月初めに学内eラーニングシステム「Glexa」、学園ホームページにより学生へ公表している。

成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>成績評価は、定期試験（論文含む）、または演習、実習などの成績ならびに平素の学習活動全般から得られる評価資料（レポート等）に基づいて総合的に行っている。</p> <p>科目の成績の総合評価は100点法をもって行っており、総合評価に基づいて、秀・優・良・可・不可の5段階に評定し、可以上を合格としている（秀:100点～90点、優:89点～80点、良:79点～70点、可:69点～60点、不可:59点以下）。</p> <p>成績評価の方法は、シラバスに明記され、印刷物及び学内eラーニングシステム「Glexa」、学園ホームページにより学生へ公表している。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>本学園及び本校の教育理念・教育目標・教育方針に基づき、各学科において、学則に定められた所定の修業年限以上在学し、履修すべき科目のすべてを修得し、学校納入金を完納した者に対して、卒業認定会議を経て、卒業を認定している。</p> <p>また、教育課程編成委員会並びに学科会議において、卒業認定の方針（ディプロマポリシー）を定め、公表している。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>「医療・福祉の現場で求められる人材の育成」を達成するために、学校生活での様々な悩みや問題に対して相談に応じ、円滑に過ごせるようにサポートをしている。入学前教育から、国家試験対策やスキルアップの支援まで、目標の実現を支えていく。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
18人 (100%)	0人 (0%)	9人 (50%)	9人 (50%)
(主な就職、業界等) 医療法人等の病院、診療所、児童施設等			
(就職指導内容) 入学当初より職業人への意識向上を図っている。在学中は、学生サポートセンターの就職担当者から職業ガイダンス（卒業年次はオリエンテーション、履歴書作成、出願・面接等の指導）が行われ、担任との面談等を経て、希望就職先を決定している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 言語聴覚士国家試験 11名合格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
58人	4人	6.9%

(中途退学の主な理由) 進路変更、学業不振
(中退防止・中退者支援のための取組) 学校での学習がスムーズに行えるよう、入学前の基礎学力向上の取り組みから入学後の専門課程の学習、国家試験合格までを継続的にサポートしている。 また、担当教員が学生生活を送る上でのトラブルや悩みを聞き、より良い解決方法を共に考えていくほか、経済的な面など生活全般についての相談や学生の心身の健康管理に関する相談を行っている。

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門	歯科衛生士科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	120	96	3	21	—	—
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
130人		74人	0人	5人	44人	49人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 関係法令を遵守し編成しなければならないことは勿論、学生の実態・就職施設(病院等)の要望を把握し、教育課程編成委員会において慎重に議論を行っている。特に就職施設企業(病院等)の要望については、本学園の学生サポートセンター就職支援担当が実施している数カ月にわたる病院等へのヒアリングの結果を報告会等で情報提供して意見交換を行い、その結果を学科会議や教育課程編成委員会等で教育課程編成に反映させている。 シラバスの記載項目や様式等は、本学園の教学マネジメント室において検討を行い「西野学園授業計画(シラバス)作成ガイドライン」が作成され、この内容は本学園のグループウェアや学内研修により全教員に周知されている。 シラバスは毎年2月末までに作成され、毎年4月初めに学内eラーニングシステム「Glexa」、学園ホームページにより学生へ公表している。
成績評価の基準・方法
(概要) 成績評価は、定期試験(論文含む)、または演習、実習などの成績ならびに平素の学習活動全般から得られる評価資料(レポート等)に基づいて総合的に行っている。 科目の成績の総合評価は100点法をもって行っており、総合評価に基づいて、秀・優・良・可・不可の5段階に評定し、可以上を合格としている(秀:100点~90点、優:89点~80点、良:79点~70点、可:69点~60点、不可:59点以下)。 成績評価の方法は、シラバスに明記され、印刷物及び学内eラーニングシステム「Glexa」、学園ホームページにより学生へ公表している。
卒業・進級の認定基準

<p>(概要)</p> <p>本学園及び本校の教育理念・教育目標・教育方針に基づき、各学科において、学則に定められた所定の修業年限以上在学し、履修すべき科目のすべてを修得し、学校納入金を完納した者に対して、卒業認定会議を経て、卒業を認定している。</p> <p>また、教育課程編成委員会並びに学科会議において、卒業認定の方針（ディプロマポリシー）を定め、公表している。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>「医療・福祉の現場で求められる人材の育成」を達成するために、学校生活での様々な悩みや問題に対して相談に応じ、円滑に過ごせるようにサポートをしている。入学前教育から、国家試験対策やスキルアップの支援まで、目標の実現を支えていく。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18人 (100%)	0人 (0%)	17人 (94.4%)	1人 (5.6%)
(主な就職、業界等) 病院歯科、歯科診療所			
(就職指導内容) 入学当初より職業人への意識向上を図っている。在学中は、学生サポートセンターの就職担当者から職業ガイダンス（卒業年次はオリエンテーション、履歴書作成、出願・面接等の指導）が行われ、担任との面談等を経て、希望就職先を決定している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 歯科衛生士国家試験 17名合格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
74人	3人	4.1%
(中途退学の主な理由) 進路変更のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学校での学習がスムーズに行えるよう、入学前の基礎学力向上の取り組みから入学後の専門課程の学習、国家試験合格までを継続的にサポートしている。 また、担当教員が学生生活を送る上でのトラブルや悩みを聞き、より良い解決方法を共に考えていくほか、経済的な面など生活全般についての相談や学生の心身の健康管理に関する相談を行っている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		専門	作業療法士科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	139	92	21	26	—	—
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		43人	0人	6人	25人	31人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>関係法令を遵守し編成しなければならないことは勿論、学生の実態・就職施設（病院等）の要望を把握し、教育課程編成委員会において慎重に議論を行っている。特に就職施設企業（病院等）の要望については、本学園の学生サポートセンター就職支援担当が実施している数カ月にわたる病院等へのヒアリングの結果を報告会等で情報提供して意見交換を行い、その結果を学科会議や教育課程編成委員会等で教育課程編成に反映させている。</p> <p>シラバスの記載項目や様式等は、本学園の教学マネジメント室において検討を行い「西野学園授業計画（シラバス）作成ガイドライン」が作成され、この内容は本学園のグループウェアや学内研修により全教員に周知されている。</p> <p>シラバスは毎年2月末までに作成され、毎年4月初めに学内eラーニングシステム「Glexa」、学園ホームページにより学生へ公表している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価は、定期試験（論文含む）、または演習、実習などの成績ならびに平素の学習活動全般から得られる評価資料（レポート等）に基づいて総合的に行っている。</p> <p>科目の成績の総合評価は100点法をもって行っており、総合評価に基づいて、秀・優・良・可・不可の5段階に評定し、可以上を合格としている（秀:100点～90点、優:89点～80点、良:79点～70点、可:69点～60点、不可:59点以下）。</p> <p>成績評価の方法は、シラバスに明記され、印刷物及び学内eラーニングシステム「Glexa」、学園ホームページにより学生へ公表している。</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>本学園及び本校の教育理念・教育目標・教育方針に基づき、各学科において、学則に定められた所定の修業年限以上在学し、履修すべき科目のすべてを修得し、学校納入金を完納した者に対して、卒業認定会議を経て、卒業を認定している。</p> <p>また、教育課程編成委員会並びに学科会議において、卒業認定の方針（ディプロマポリシー）を定め、公表している。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>「医療・福祉の現場で求められる人材の育成」を達成するために、学校生活での様々な悩みや問題に対して相談に応じ、円滑に過ごせるようにサポートをしている。入学前教育から、国家試験対策やスキルアップの支援まで、目標の実現を支えていく。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
13人 (100%)	0人 (0%)	10人 (76.9%)	3人 (23.1%)
(主な就職、業界等) 病院、診療所			
(就職指導内容) 入学当初より職業人への意識向上を図っている。在学中は、学生サポートセンターの就職担当者から職業ガイダンス（卒業年次はオリエンテーション、履歴書作成、出願・面接等の指導）が行われ、担任との面談等を経て、希望就職先を決定している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 作業療法士国家試験 10名合格			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
57人	7人	12.3%
(中途退学の主な理由) 進路変更、学業不振		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学校での学習がスムーズに行えるよう、入学前の基礎学力向上の取り組みから入学後の専門課程の学習、国家試験合格までを継続的にサポートしている。 また、担当教員が学生生活を送る上でのトラブルや悩みを聞き、より良い解決方法を共に考えていくほか、経済的な面など生活全般についての相談や学生の心身の健康管理に関する相談を行っている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
臨床検査技師科	200,000円	1,440,000円	0円	・授業料 4期分納（3カ月毎） ・休学時在籍料 年間60,000円
介護福祉士科	200,000円	920,000円	0円	
理学療法士科	200,000円	1,760,000円	0円	
臨床工学技士科	200,000円	1,440,000円	0円	

言語聴覚士科	200,000 円	1,440,000 円	0 円	・授業料 4期分納（3カ月毎） ・休学時在籍料 年間 60,000 円
歯科衛生士科	200,000 円	920,000 円	0 円	
作業療法士科	200,000 円	1,760,000 円	0 円	
修学支援（任意記載事項）				
<p>給付奨学金の予約採用者には、採用候補者決定通知を1月末までに提出していただいた場合、I期授業料を支援区分に応じて減額した金額で納入すること、また6月末まで授業料の納入を猶予する制度を設けている。</p> <p>○学校独自の支援制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西野学園学費支援制度 経済的理由から学校納付金納入が困難な状況で、学業成績が平均水準以上で日常生活態度が良好な方に対して支援する制度 ・修学サポート制度 指定校推薦制度、子弟入学者支援制度、特待生チャレンジ制度、クラブ活動応援制度、学びなおし応援制度、キャリアチェンジ応援制度 				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://nishino-g.ac.jp/about/johokokai/		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）		
<p>学校関係者評価委員会は社会福祉法人の役職者（介護実習等及び就職先施設）、連携企業の言語聴覚士及び理学療法士、卒業生（臨床検査技師科OB）、地域住民代表（学校所在地の町内会長）など、委員選定基準に依って外部から計5名を招聘して構成されている。</p> <p>委員会では学校運営・教育活動・学修成果などの自己点検について評価を行い、年2回の会議において議論された評価結果内容や意見について、そのまとめたものをホームページにて公開し、評価の透明性および客観性を担保している。</p> <p>また、委員会から提言された学習環境の整備や同窓会活動の充実といったさまざまな意見は学内の職員会議にて年度ごとに討議され、翌年度の学校教育計画に盛り込まれて学校運営に反映されている。</p>		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
社会福祉法人ほくろう福祉協会	2026年4月1日～ 2028年3月31日	企業等委員
日本赤十字社北海道ブロック 血液センター	2026年4月1日～ 2028年3月31日	企業等委員
医療法人溪仁会 札幌西円山病院	2026年4月1日～ 2028年3月31日	企業等委員
北海道理学療法士会 医療法人 新さっぽろ脳神経外科病院	2026年4月1日～ 2028年3月31日	企業等委員
札幌市中央区西第八町内会	2026年4月1日～ 2028年3月31日	地域住民

第三者評価結果の公表方法
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://nishino-g.ac.jp/about/johokokai/
(備考)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://nishino-g.ac.jp/about/johokokai/
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	H101310100110
学校名 (〇〇大学 等)	札幌医学技術福祉歯科専門学校
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人西野学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		124人（ 52 ）人	116人（ 44 ）人	128人（ 52 ）人
内 訳	第Ⅰ区分	47人	41人	
	（うち多子世帯）	（ - ）人	（ - ）人	
	第Ⅱ区分	26人	27人	
	（うち多子世帯）	（ - ）人	（ - ）人	
	第Ⅲ区分	14人	11人	
	（うち多子世帯）	（ - ）人	（ - ）人	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	12人	-	
	区分外（多子世帯）	26人	32人	
家計急変による 支援対象者（年間）				-人（ 0 ）人
合計（年間）				129人（ 52 ）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当)	0人	人	人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	人	人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)、及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学(期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。)の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
GPA等が下位4分の1	0人	人	人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	0人	人	人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	0人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。